



教育 おおらか・さわやか・きわやかな大崎の教育

問 教育委員会管理課 ☎476-1111(410)

◆音楽の楽しさを♪

11月15日（水）、町中央公民館において『第53回小・中学校音楽発表会』が開催され、町内7小中学校の児童・生徒が、振り付けを交えた舞台発表や本格的な混声3部合唱を披露しました。

また、みやまコンサールの増森健一郎先生をお招きし、音楽の楽しさや素晴らしいさを教えていただきました。

最後は、全員で『世界がひとつになるまで』を合唱し、会場が一体となって盛り上がった音楽発表会でした。



音楽発表会（中中小）

◆これからも『学び合い』を大切にしたい授業を

12月1日（金）、『地区研究協力校研究公開』が大崎小学校で行われ、町内をはじめ県内から100名を超える教職員が集まりました。

大崎小学校では、平成27年度から3年間にわたり、学習指導法の改善に取り組んでいます。この日は、研究発表や公開授業を行い、これまでの研究成果を発表しました。

特に、公開授業では、学び合いを大切にしたい授業が行われ、子どもたちは、互いの意見を発表し合いながら課題を解決していました。

公開授業後の意見交換会では、子どもの考えを広げ深めさせる指導法のあり方について意見が多く出され、今後の授業実践の参考となる研修を深めることができました。

大崎町では、今後も学力向上や生徒指導などの充実を図るため、小中学校のさらなる連携を進めていきます。



研究発表



公開授業

僕の夢 私の夢

『自衛隊の看護師になりたい』

No.28 野方小学校 6年 山下 明海里

私には、夢があります。それは自衛隊の看護師になることです。きっかけは6年前に起きた東日本大震災です。当時、私は4歳でした。幼かったけれど、テレビから流れていた津波によってのみこまれていく家や車、地震によって発生した火災の映像を今でも覚えています。その時は、ただかわいそうとしか思いませんでした。

震災から1週間ほど経って、私はテレビから流れてくる映像に映る人々に目がいくようになりました。火災の火を消そうとがんばっている消防士、困っている人々に指示をする警察官、そして、がれきに埋もれた人々を救おうとする自衛隊の方々です。みんなとてもかっこよかったです。その中でも、一番心を打たれたのが、自衛隊の看護師でした。避難所で、家族の安否が分からず悲しんでいる人、泣いている人に誰よりもよりそっている姿にとってもひかれました。

私は、悲しんでいる人や泣いている人を支えてあげたい、一人でも多くの人の笑顔を取り戻してあげたいと思うようになりました。

自衛隊の仕事につくためにどんな方法があるのか、いろいろと調べてみました。また、親せきにいる自衛隊の人に何度もいろいろな質問をしました。そうして、自衛隊に入るには勉強をがんばることが大事で、とても難しい試験に合格しないといけないことが分かりました。

私は、まだ小学6年生です。自衛隊の看護師になるのは、まだ先のこともかもしれません。しかし、あの時感じた気持ちは忘れずにおきたいと思います。その気持ちを忘れずにいれば、きっと苦しい勉強も乗り切れるだろうし、難しい試験にも合格できると思うからです。

悲しんでいる人や泣いている人がいたら、やさしく声をかけ、支えてあげること。一人でも多くの人が笑顔でいられるようによりそえる自衛隊の看護師になりたいと思います。それが私の夢です。